

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荒井
	全体計画						経費区分		-		内線	3425
事務事業名	4188 シルキープラザ管理事業											
所 属	150300 産業振興部・商業観光課											
施 策	05042700 観光産業の振興											
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	070104 商工費・商工費・シルキープラザ費										
	事業	010000 シルキープラザ管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
シルキー2階の公共施設が入居する部分の施設維持管理						シルキー2階の公共施設が入居する部分の施設維持管理						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
入館者12,274人	入館者15,813人
平成24年度 実績	平成25年度 実績
入館者13,211人	入館者12,953人
平成26年度 予定	平成27年度 予定
入館者12,000人	入館者12,000人

指標名	入館者数						
算式						単位	人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	
	実績	15,813	13,211	12,953			
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		5,455	6,872
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	120	90
一般財源		5,335	6,782
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		5,455.0	6,872.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,922	電気料
13節 委託費	85	事務機器保守点検
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	3,033	共用管理費及び暖房料負担金
その他	415	使用料及び賃借料

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	2,160	電気料
13節 委託費	32	事務機器保守点検
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	4,287	共用管理費及び暖房料負担金
その他	393	使用料及び賃借料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	施設管理のため不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	施設管理を的確に行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	事務機器等を削減している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
暖房等を削減し、経費の削減に努めている。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
観光協会に管理運営を委託している指定管理施設であるが、市民ギャラリーとして市民の文化意識の醸成に資することができた。		市民ギャラリーとして一定の成果が生まれている、引き続き多くの市民が自由に活用できるよう施設管理に努める。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	